

北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 4 号 (通巻 No.275)

2009 年 6 月 18 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・スルメイカは道東太平洋沖合に広く分布。
- ・分布密度は前年をやや下回る。
- ・体サイズは前年よりやや大きい。

調査期間 : 2009 年 6 月 9 ~ 17 日

調査海域 : 道東太平洋 (北緯 41 ~ 42 度付近)

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 8.2 ~ 13.6 で, 調査海域の東側で 12 以上, 西側で 11 以上と高く, その間の東経 144 ~ 145° で 10 度以下と低くなっていました。

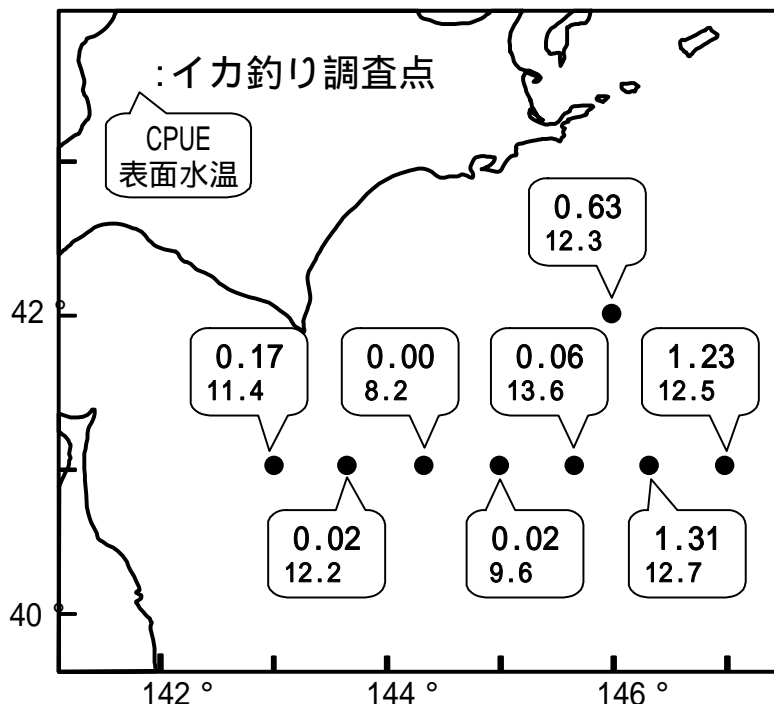


図 1 2009 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
分布密度は CPUE(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で示した。

2. 分布と分布密度 (図 1, 図 2, 表 1)

スルメイカは調査を行った 8 調査点のうち 7 調査点で漁獲があり, 北海道の南沖に広く分布していました。8 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.00 ~ 1.31 で, 東経 146° 以東で 0.63 ~ 1.31 と高くなっていました(図 1)。平均 CPUE は 0.43 で, 前年 (0.59) をやや下回りました(図 2, 表 1)。

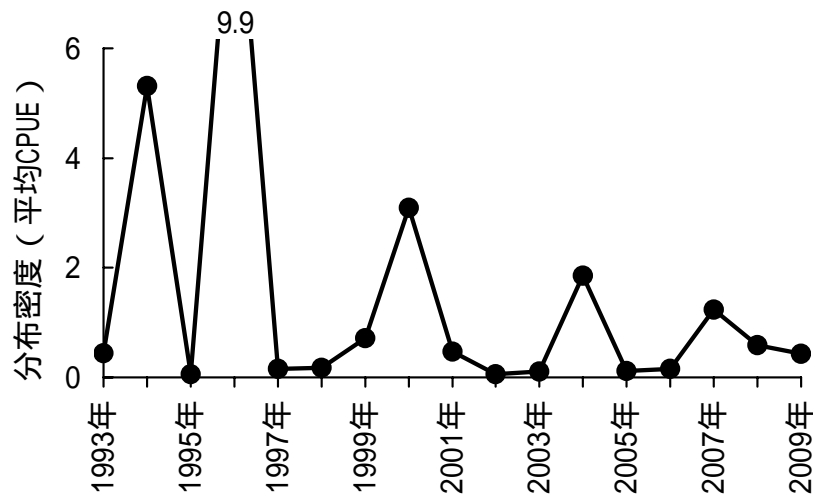


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

3. スルメイカの大きさ (図3, 表1)

スルメイカの外套長(胴長)は10cmから17cmまでみられました。モード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は14cmで、小型が多かった前年より1cm大きくなっていました。

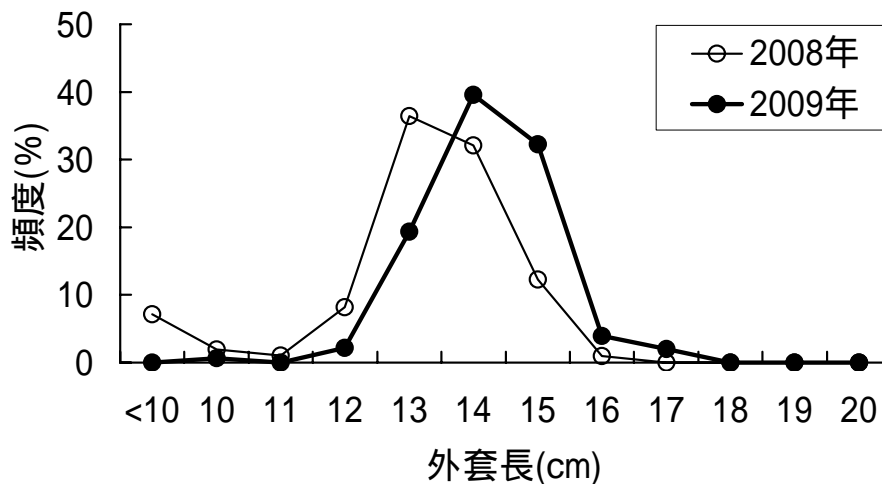


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2005～2009年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2005年	6/8～17	30	12-15	14	6
2006年	6/14～20	52	14-19	16	7
2007年	6/13～20	311	6-18	14	6
2008年	6/10～17	199	7-15	13	7
2009年	6/9～17	165	10-17	14	8

(文責：釧路水産試験場資源管理部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)